



## OB会だより 8号 会長挨拶

OB会 会長 西村 一

この度の史上まれな大災害に遭遇された東北地方の皆様、心からお見舞い申し上げます。

一日も早い復興を心からお祈り申し上げます

会員の皆様には、この時機、畑の準備、野菜作りで何かとお忙しい日々をお送りされていることと推察いたします。毎日が矢のように過ぎ、今年もはや3分の1が過ぎました。

OB会は今年2月の生きがいコース修了の方が加入され 会員数137名になりました。

昨年度のOB会は夏の定期総会、OB農場見学会、秋の楽農生活センター感謝祭などを行い、まずまずの一年間ではなかったかと顧みております。農場見学会は沢山の会員に参加して頂きました。

特に感謝祭は役員で実行責任者をお願いしていた方が急逝され、計画どおり出来ませんでしたが、関係者の皆様のご支援のお陰で協賛活動の目的を達することが出来ました。ただ時間ばかりが早く過ぎて、やりたい事、やらねばならない事が半ばであることも多々あります。この一年間も更なる活動を企画しています。

今年度も皆様のご支援を頂きながら着実にOB会を運営して行きたいと思っています。

どうぞ宜しくご支援頂きますようお願い申し上げます。



## 農業者をめざして

就農コース6期生(研修中) 浅田 総一郎

私は会社勤務の頃、農業の「田園地帯・のんびり・収穫の喜び」に憧れ「将来農業がしたい」と考えていました。

就農研修で自ら野菜栽培を始めてみて、「生き物を育てているのだ」「採取ではなく、栽培→収穫→感謝」「農業には休日は無い」を感じ、乳飲み子を育てる母親のように絶間なく気を配り、人間が介助しなければ作物はできないことを知りました。

反面、日々成長する作物、収穫の喜びが、



営農継続の気力を養ってくれることも感じました。

私の目標は、消費者が「美味しい!」と言ってくれる作物を適正な価格で販売し、少しでも良いので利益を上げることです。未だ就農地が定まらぬ私ですが、OB諸先輩、指導員の皆様にも未永く御指導を賜りながら、農業に取り組んでいきたいと考えております。

今回OB会役員を拝命いたしました、微力ながらOB会発展にお役に立ちたいと思います、皆様の御指導を頂きます様お願いします。

## 東日本震災について

3月11日の14時46頃、三陸沖を震源に国内観測史上最大のM9.0の地震が発生。最大震度7。10メートルを軽く越える津波や火災で多数の死傷者が・・・。

警察庁によると、8日午後8時現在、検視などで確認した死者は1万2787人、家族らから届け出があった行方不明者は1万4991人で、計2万7778人になった。

地震当日、私はテレビで津波に飲み込まれる町をただ呆然と見ていました。阪神淡路大震災を越える未曾有の災害に心が痛みます。

地震災害だけではなく原発事故もあり、本当に被害に遭われている方々の、心の痛みは計り知れないものがあります。今回、福島市で被災された農業を営んでいる友人からのメッセージを記載させて頂きます。

『農村たより

今回の地震での福島第一原発事故により、多くの農家が心を痛めております。実際に野菜を食べても害がないとは言え、いくら地元の者が安全を叫んでも、消費者の

方々の安心は簡単に得られません。皆様の冷静かつ温かいお心が必要かと思えます。

消費者の方々の中からそういうムーブメントが起こる事を願います。そうして、小さな渦が大きくなるとなり、やがてこれまで以上に日本の野菜・果物の消費が伸びて皆が明るく暮らせる日が来ることを願います。

福島県福島市 栽培品目 サクランボ・もも・りんご』

私たちの暮らしが便利になるにつれ、沢山の電気に頼っており、近畿地方でもかなり原発に頼っています。

これから何が大切なのか?どんな世の中になればいいのか?そんな事も考えてしまいます。私たちに何が出るのか・・・メッセージが考えるきっかけとなれば幸いです。

改めて、亡くなった方々のご冥福をお祈り致します。そして、東日本大震災の被害に遭われた方へお見舞い申し上げます。少しでも早く、日常生活が戻る事をお祈り致します。(関本)

## 単身赴任のイチゴ農家

坂口 敏文(59才)

私は楽農学校生きがいコース1,2期卒業生です。4年前、神戸市西区に27aの水田を借り、9aのハウスを建てイチゴ栽培を始めました。現在は、16aと2aのハウスで12,000株のイチゴを栽培し、12月～7月初旬まで主に直売所で販売しています。

今回、農家になったいきさつと、就農準備について述べてみたいと思います。

40才後半頃から、なんとなく定年退職後のことを考えるようになり、大阪で開催されている「新規就農フェア」に4～5年通っていました。楽農学校のことは2004年開催の前記フェアの神戸市ブースで知り、「生きがいコース」で世話になることになりました。

一方、自宅(大阪府枚方市)に近い大阪、京都の「農業会議」や市役所にも出向き就農相談しましたが農地確保が困難とのことで、単身赴任先にある神戸市役所にも足を運んだところ、農地斡旋や新規就農支援も行っているとのことでした。会社から比較的近い神戸農業改良普及センターに何回も足を運んでいろいろと相談に乗ってもらいました。その後、神戸市新規就農希望者研修会、イチゴ農家での研修、先輩(新規就農)農家の紹介で農地確保、等々。2007年9月に農家に転進し、サラリーマン時代と同じく、単身赴任になってしまいました。

就農準備ですが、いろんな書籍にも載っていますが、  
・就農計画と資金の確保  
・家族の同意  
・農地の確保  
・栽培技術の習得  
・販路の確保  
を行いました。どのようにしたかは紙面の都合上省きます。

就農するにあたり私がこだわったのは、サラリーマン時代に学んだことを活かすことです。具体的には「農業

を経営する」「短期間で栽培技術を習得する」「統計的品質管理でよいもの作る」ことです。どんぶり勘定でなく収支を管理する、短期での栽培技術習得にはデータの記録・分析で経験を補完する等々。概要は神戸新聞HP「食と農林水産 ひらくひと」に掲載されています。

就農4年目ですが、予期せぬ出来事は、朝日放送からTV番組「人生の楽園」出演依頼があり今年1月に放映されたことです。農業経営状況は、収穫・販売とも計画通りです。今後は更においしいイチゴ作りを極めていきたいと思っています。

TV収録の一場面



さかぐちファーム 坂口 敏文

住居：神戸市西区中野2丁目6-8 103

TEL, FAX 078-921-0340

圃場：神戸市西区押部谷町和田 12-645

## 兵庫楽農生活センター楽農学校課 異動職員紹介

平成23年4月1日付けで、職員の異動がありましたので紹介します。

退職 米澤 賢一 兵庫楽農生活センター  
副センター長兼楽農学校課長  
前田 佳代 指導員

新規職員

松下 順子 兵庫楽農生活センター  
副センター長兼楽農学校課長  
大西 順子 指導員

## 原稿大募集！！

エッセー、体験談等を募集しています。(400字程度) 会員の皆様のご協力をお願い致します。

社団法人 兵庫みどり公社 兵庫楽農生活センター  
〒651-2304

神戸市西区神出町小束野30-17

電話078-965-2047

FAX078-965-2659

ご意見や感想、原稿はメールでも受付しています。

西村 一 [h-nishimura@mqc.biglobe.ne.jp](mailto:h-nishimura@mqc.biglobe.ne.jp)

## 編集後記

閑本です。原稿を寄せて下さった方々、ありがとうございました。感謝致します。

4月より新体制となります。お世話になった方々、ありがとうございました。新しく赴任される方々、よろしくお祈り致します。

3月は寒い日もありましたが、天候もようやく落ち着いてきたように感じられます。卯年です。ウサギのように、少しでも前進出来る一年でありたいと思います。

今後もOB会をよろしくお祈り致します。